

平成 20 年度 八王子市「特色のある学校づくり」推進事業実施計画書

学校名 八王子市立横川小学校

校長名 畝 本 光 子 印

平成 19 年度八王子市「特色のある学校づくり」推進事業について、実施要綱に基づき申請します。

| | |
|--|---|
| <p>目 的</p> <p>本校の特色ある学校づくり推進のねらい育てたい児童・生徒像など</p> | <p>「生命」をテーマに豊かな体験をし、生きる力を身につける。</p> <p>① 国際交流教育活動で「ともに生きる」という視座にたった交流学习を体験総合活動を展開する。</p> <p>本校では 14 年度より、多様な交流活動を通して生きることの良さと楽しさを味わってきた。</p> <p>その一つとして、市内在住の英語を母語とする外国人を講師として、全学年による英語活動を（平 19）年間 51 時間実施してきた。さらに、国際協力事業団、中央大学国際交流センターの方々との交流活動を通して、日本の生活を伝え、外国の生活や文化を共に学んできた。</p> <p>今後は、この交流活動を一層充実させ「共に生きる」という視座にたち、自他の生命尊重を大切にできる力を育成する。児童の将来を見すえた国際性を身につけさせ、中学校英語教師、地域の学習支援者と共に実践的なコミュニケーション能力を育成していく。</p> <p>② 自分の言葉で表現し伝えあう力を育てる活動を行う。</p> <p>国語科「聞く・話すを通して」校内研究を充実する。</p> <p>本校では 18.19 年度校内研究を上記の通り活動し、20 年度は市研究協力校を受ける。講師を招き、実践授業の充実・強化を目指す。</p> <p>言葉は確かな学力を育成する基盤ととらえ、国語科を中心に教育課程全体に位置づけ、体験を通して身に付けられるように研究していく。</p> <p>③ 「食育」を通して心と体の健康を守り育てる活動を行う。</p> <p>本校は自然に恵まれた校区と学校園を利用して植物を育て、自然との関わりに関心をもたせ生命への畏敬の念を培ってきた。</p> <p>今後は、カイコなど小さな生命との出会いと驚きを入口に、米栽培や花菜類を育て、一生懸命育てたものを自ら食べることの意義を具体的な実践を通して見直していきたい。</p> |
| <p>計 画 内 容</p> <p>特色ある学校づくり推進計画（推進内容・方法など）</p> | <p>① の推進計画</p> <p>教育課程上に位置づける。</p> <p>総合的な学習の時間におけるコミュニケーション能力の育成として英語活動の時間を、5・6 学年年間総計 80 時間設定する。</p> <p>（1 学級 週 1 時間 × 20 週）</p> <p>(1) 英語活動 コミュニケーション能力の育成</p> <p>習った英語で話す活動をし、英語能力と自己表現力を伸ばす。</p> <p>英語講師を招き実践する。</p> <p>講師 エマニエル氏</p> <p>インターンシップによる活動を進める。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>教員研修等に経費を使用する場合には、特に研修計画など。</p> <p>事業を実施した効果の測定方法</p> | <p>地域の学習支援者による英語活動をする。 横川中・四中学校教員による出張授業を思考する。</p> <p>(2) 体験総合活動 (1～6年) 異文化理解体験をする。日本人と外国人の容姿、言葉、習慣、文化の違いについて気付かせる。市内在住外国人、留学生等による授業を実践する。 国際交流体験をする。マナーを守って外国人に接することの大切さを身に付ける。日本に來ている研修生との交流会をもつ。日本のことを知ってもらう活動をする。 国際貢献体験をする。世界への目を開き、国際人として活躍する素地を養う。ボランティア活動をしている人達からの体験をする。</p> |
| | <p>2 の推進計画</p> <p>(1) 言語活動の充実をあらゆる教科で進めるが、特に余剰時間20時間を国語教科にプラスして行い、補充、発展問題を実施する。</p> <p>(2) 「朝活動」の時間を充実する。 月、木、金曜日の8時30分から8時40分の10分間、朝読書、読み聞かせなどで、読書に親しませる。</p> <p>(3) 授業時間内に「対話」の時間を設ける教育課程を編制し、自分が体験したことや日ごろ考えていることを友達と話し合うことで自己表現とコミュニケーション力を培う。</p> <p>(4) 言葉を大切に学習環境の整備を行い、グループ学習の話し合い、まとめ方など、学校全体の共有化で系統立てた指導の確立を目指す。</p> <p>(4) 上記の4つの視点を実践するために校内研究で講師を招き、年間10回のうち4回の研究授業を研究実践する。 講師は、全国国語教育研究会顧問 帆足文宏先生に決定している。</p> |
| | <p>3 の推進計画</p> <p>学年の特性を生かした教育課程を編成する。 総合的な学習の時間、教科学習との関連を再編成し、横断的な学習形態を創る。</p> <p>(1) 給食のひみつを知ろう。(1.2年) 学校園での野菜栽培を活かし、自分の育てたものを食することの大切さを知る。 毎日食べている給食について関心をもち、望ましい食生活について知る。</p> <p>(2) カイコを育てる。(3年) 八王子市の特産について知り、生命への畏敬の念を育てる。</p> <p>(3) みその源を知る。(4.5.6年) 4年 - 大豆を育てる。 5年 - みそ作りをする。 6年 - 味噌を使った郷土料理にチャレンジする。</p> <p>(4) 田んぼを知る。(5年) 学校田で稲作体験をし、育むことの苦労と喜びを味わい、日本の伝統的「食」の基本を学ぶ。</p> <p>(5) 市の花を育てる。(特活) 地域のお年寄りの方々との花いっぱい運動を続ける。 お年寄りを敬う心や愛でる気持ちを培い、思いやりの心を育てる。 「山ゆり」を育てる。(3年計画)</p> |